

業務名：文化財

町内の指定文化財には

私たちの祖先が、長い歴史のなかでつくりあげてきた貴重な文化遺産を大切に保護し、後世に伝えていくため、昭和43年に文化財保護条例が制定されました。

	名 称	指定者	指定種別	所在地	概 要
1	喜兵衛島製塩遺跡	国	有形・史跡	直島町4565番地 他 (喜兵衛島)	瀬戸内海の小島に営まれた古墳時代の製塩遺跡。山頂部には、製塩集団の築いた古墳時代後期の古墳群があり、その時代における製塩集団の生活をうかがうことができる。
2	直島女文楽	香川県	有形・無形民俗文化財	直島町	瀬戸内海の島々でかつて盛んであった芸能の伝統をうけついでいる。女性のみによる本格的な文楽は全国数多い人形遣いのうち例が少なく、三人遣い女文楽としては全国唯一のものである。
3	八幡神社石鳥居	香川県	有形・建造物	八幡神社 直島町732番地	桃山時代末期若しくは江戸時代初期の建造とされ、材質は直島産の花崗岩である。素朴で重量感にあふれた古い形のものである。
4	極楽寺本堂	直島町	有形・建造物	極楽寺 直島町738番地	元禄9年の建立、標準規模の三間堂で客殿・庫裏と同時の建築、寺号は八幡山長寿院極楽寺、本尊は阿弥陀如来である。特徴は、唐破風付向拝が付いた他に例の少ない妻入りである。
5	極楽寺客殿	直島町	有形・建造物	極楽寺 直島町738番地	本堂と同時の建築、入母屋造りで四周に回椽を回らし本堂と庫裏との間は釣り屋でつないでいたと推定されるが、釣り屋部分には後世に改造が加えられている。
6	極楽寺山門	直島町	有形・建造物	極楽寺 直島町738番地	元禄14年頃の建築で、医薬門様式の本瓦葺。懸額は高辻中納言世長卿の筆。高原家の家紋と船印が入っている。旧直島領主高原氏の分家で福岡黒田藩士高原次郎兵衛利定が安永年間に寄進したものである。

7	極楽寺鐘樓	直島町	有形・建造物	極楽寺 直島町738番地	極楽寺は八幡神社の神宮寺であったが、明治の神仏分離太政官割符により鐘樓を八幡境内から寺内に移築した。現在の鐘樓は、明治29年に建築されており、鐘もこのとき新鑄したものである。
8	仏像（阿弥陀如来坐像）	直島町	有形・彫刻	極楽寺 直島町738番地	もと観音院廃寺にあったもの。たら伝では恵心作。寄木造で像高は84.5cm、わずかに金箔が残っている。温和な面相や、内割りなどの造像手法は、藤原時代後期の特徴をよく示している。
9	懸佛（阿弥陀如来坐像）	直島町	有形・工芸品	極楽寺 直島町738番地	鎌倉時代のもので、鑄銅半肉身面部・衣文・手印・蓮華座は毛彫り技法。
10	僧形八幡木像	直島町	有形・彫刻	極楽寺 直島町738番地	室町時代のもので、元八幡神社のご神体、一木造で胡紛彩色が施されている。
11	御正体石像	直島町	有形・歴史資料	極楽寺 直島町738番地	この像は直島八幡神社の御正体であったと伝える。砂岩系の自然石で「南無阿弥陀仏」の名号が彫られている。特に、「阿」の字は「犴」偏で彫られており注目される。
12	高原氏墓標群	直島町	有形・史跡	極楽寺 直島町813番地	江戸時代初期のもので、高原寺廃寺は、旧直島領主高原氏五代の菩提寺として建立され、その一族縁者の墓所であり、町内に残存する近世初冬の遺跡としては、規模・歴史的文化的価値において第一級の物件である。
13	敬光院僧宥墓碑	直島町	有形・史跡	直島町951番地	敬光院僧宥は、第二代極楽寺住職で名僧の誉れが高い。「土中に身を埋めて鈴の音が途絶えたときは成仏したものだ思うように」と村人に伝え、21日間の断食行を行い読経をしながら即身成仏したという。